

## いよいよ 卒業式です



明日、3月23日(火)は、令和2年度卒業証書授与式です。今日の最後の練習でも、卒業生は立派な態度で臨んでくれました。一緒に式に参加する、4・5年生も卒業生を送り出すという気持ちをしっかり持っていたようです。コロナウイルスへの対策のため、卒業式の前に修了式を行います。子どもたちのこの1年の頑張りを次のようにほめようと思っています。

一年生は、計算力アップの問題に一生懸命に取り組みました。全員が合格できて素晴らしいです。

二年生は、かけ算の暗記を頑張っていました。教室に入るたびに九九を唱えてしっかり覚えられましたね。

三年生は、図書室で本をたくさん借りて、家族読書にも一番取り組んでいました。

四年生は、学習の中での話し合いが上手にできるようになってきました。学んでいくときにとっても大切なことです。

五年生は、いつも落ち着いて学習に取り組んでいました。六年生を送る会での活躍も素晴らしいかったです。

卒業式では、6年生の頑張りをたくさんほめたいと思います。

教育旅行には、自分たちで計画を立ててのグループ活動では、友を思い支え合って自主的に活動していました。学習発表会では、宮沢賢治の世界を見事に演じ、見ている方々に感動を与えてくれました。ミニ運動会でも最高学年としての自分たちの役割を果たしてくれました。

最後に私事ですが、今年度で定年退職となり、卒業生とともに高平小学校を去ります。その思いを福島県女性校長会の会報に寄稿した原稿をここに載せさせていただきます。

安達郡東和町立南戸沢小学校（現在は二本松市立東和小学校へ統合）が私の教員生活のスタートでした。最後に赴任したのが南相馬市立高平小学校。ここには、平成12年から6年間お世話になりました。そして、(その時お仕えた校長先生にそそのかされ?)管理職を目指すことになった学校であり、ここが最後の学校になったことにとっても「縁」を感じます。新任校長として、初任地の近くの二本松市立川崎小学校に勤められたのも「縁」があったのでしょうか。私のモットーは、「子供たちが楽しく通うことができる学校」です。そのためには教職員も楽しく仕事をしてほしいと話してきました。まもなく38年間の教員生活が終わろうとしています。私も楽しく仕事を続けることができました。これも、「縁」があり一緒に仕事をする事ができた教職員の皆様のおかげと感謝をしております。ありがとうございました。

高平小学校に勤務させていただき、幸せでした。保護者の皆様ありがとうございました。